

南丹保健所管内の感染症発生動向調査による週報 (急性呼吸器感染症定点、小児科定点、眼科定点、全数報告)

第 48 週 2025 年 11 月 24 日 ~ 2025 年 11 月 30 日

今週のコメント

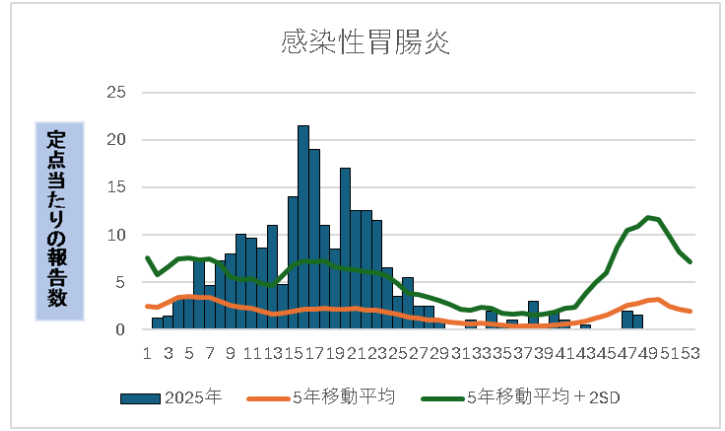
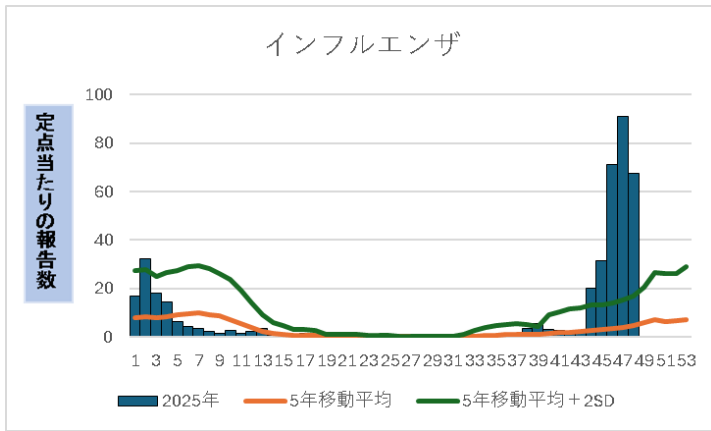
南丹保健所管内では、インフルエンザが警報レベル継続中です。

全国・京都府全体(京都市以外)でも、インフルエンザが警報レベル継続中です。

2025 年第 48 週の報告です。

- インフルエンザの定点当たりの報告数は南丹 67.50(前週 91.00)、京都府 53.03(前週 55.88)となっています。
- 感染性胃腸炎の定点あたりの報告数は南丹 1.50(前週 2.00)、京都府 3.08(前週 3.55)となっています。
- 新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は南丹 1.00(前週 3.25)、京都府 1.78(前週 1.63)となっています。
- A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たりの報告数は南丹 1.00(前週 1.50)、京都府 3.70(前週 4.50)となっています。

今週のグラフ (下記のグラフは管内上位2位疾患のグラフを掲載しています)

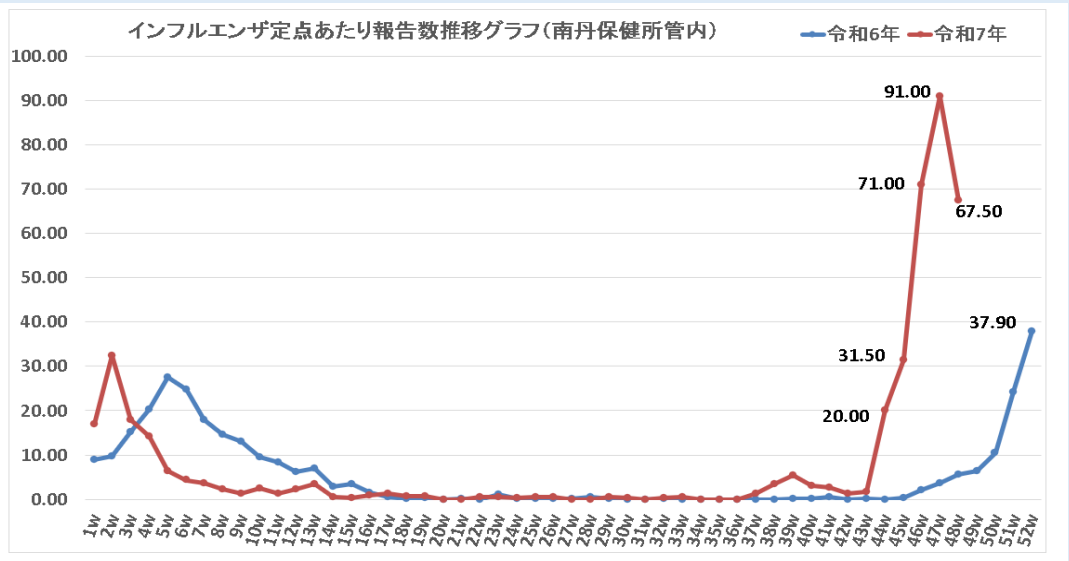


※横軸は週数 縦軸は定点あたりの報告数を示しています

- 『5年移動平均』は、過去5年間の平均値の変化を表しています。
- 『5年移動平均+2SD』は、過去5年間のデータのばらつきを考慮した上限を示しており、データの約95%がこの線より下に収まるとされる基準です。

南丹保健所管内、京都府全体でインフルエンザが警報レベル継続中です！

基本的な感染対策として、流水・石鹸による手洗いやアルコールなどによる手指の消毒、マスクの着用などによる咳エチケットをできる限り心がけ、室内は適度な湿度(50~60%)を保ちつつ、こまめに換気もしましょう。また、重症化の恐れがある定期接種対象者(65歳以上の方など)でワクチン未接種の方(今シーズン既にインフルエンザにかかった方は除く)は、速やかな接種をご検討ください。



※令和7年4月7日より急性呼吸器感染症(ARI)が感染症法上の5類感染症に位置付けられ、定点サーベイランスの対象となりました。これに伴い、インフルエンザの定点数は9箇所から4箇所に変更になっています。

	警報レベル		注意報	R7.48w		前週定点 (参考)
	開始	終息		定点当たり 報告数	前週比	
インフルエンザ*	30	10	10(流行1)	67.50	↘	91.00
新型コロナウイルス感染症				1.00	↘	3.25
RSウイルス感染症				0.00	↘	1.00
咽頭結膜熱	3	1		0.00	↘	0.50
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4		1.00	↘	1.50
感染性胃腸炎	20	12		1.50	↘	2.00
水痘	2	1	1	0.50	↘	1.00
手足口病	5	2		0.00	→	0.00
伝染性紅斑	2	1		0.50	↗	0.00
突発性発しん				0.50	↗	0.00
ヘルパンギーナ	6	2		0.00	→	0.00
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	→	0.00
急性出血性結膜炎	1	0.1		0.00	→	0.00
流行性角結膜炎	8	4		0.00	→	0.00

急性呼吸器感染症(ARI)について

急性呼吸器感染症(ARI)とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎、喉頭炎)又は下気道炎(気管支炎、細気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス、RSウイルス、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、ヘルパンギーナなどが含まれます。

南丹保健所管内第48週報告数は412件(定点当たりの報告数:103.00)でした。[京都府の情報はこちら](#)



最新情報は下記のリンク先でご確認ください(関連リンク)

・[京都府感染症情報センター](#)

更新時期:(原則)毎週木曜日 14時 前週分の状況を更新

・[感染症の情報\(国立感染症研究所\)](#)